

さわべス2017

書籍編

SAWAYA BEST

(16年11月24日 さわや書店スタッフ選考)

順位	書名・著者・出版社	コメント
1位	慈雨 袖月裕子/集英社	一読して、横山秀夫を継ぐ者が現れたと思った。しかも著者は岩手県出身である。コレを推さずに何を推す、慈しみの雨に泣け！(フェザン店松本)
2位	罪の声 塩田武士/講談社	「グリコ森永事件」を下敷きにした「家族」の物語。さわや書店フェザン店を熱狂させた、リアリティ溢れる傑作！ (フェザン店長江)
3位	みかづき 森絵都/集英社	時間に追われる毎日に、ふと見上げた夜空に浮かぶ三日月に“ガンコ者三代”のドラマを思い出す。教育に一生をかけた彼らの物語に触発されて、自分の情熱も新たにしてください。(フェザン店松本)
4位	謎のアジア納豆 高野秀行/新潮社	納豆のルーツを探り、辿り着いたのは岩手県。納豆の奥深さに驚愕して下さい！ (フェザン店田口)
5位	家康、江戸を建てる 門井慶喜/祥伝社	何も無い土地から江戸が始まった事実が驚愕。一代では成し得ない事業と想像を超えた人と技。胸が熱くなること間違いなし！(フェザン店佐々木)
6位	典獄と934人のメロス 坂本敏夫/講談社	関東大震災の被害を受けた横浜刑務所は、受刑者の解放を断行しますが…。 「信じる」とは何かを問う、傑作小説です。(外商部栗澤)
7位	鉦山のビッグバンド 小田豊二/白水社	かつて飛騨の鉦山にビッグバンドがあった。バンマスは天才肌のサクソ奏者、メンバーは鉦山で働く人達。これだけ揃ったら受けない訳がない。音楽好きはこの一冊。(上盛岡店大池)
8位	最後の秘境東京藝大 二宮敦人/新潮社	「秘境とは 遠きにおいて 思ふもの」本書を読んだからと言って軽々に藝大に近づくと、きっと身ぐるみ剥がされて、結果ヌードモデルにされます。(フェザン店松本)
9位	ヤクザライフ 上野友行/双葉社	「おーい、来年の人～！ピコ太郎はまだ流行ってますか～？」ピコ太郎は、ヤクザではない(たぶん)。(フェザン店松本)
10位	怪物君 吉増剛造/みすず書房	詩人・吉増剛造さんが震災後亡き人々に捧げた詩集。ページを開いた瞬間驚きます。これって詩？理解しなくてもいいから感じてほしい詩集です。(上盛岡店大池)
【郷土賞】	「私」を受け容れて生きる 末盛千枝子/新潮社	たくさんの人々に感動を届け続ける末盛千枝子さんという人間ができるまで。船越家という華やかな芸術家一家に育ちながらも数々の苦難に満ち、それを乗り越えてきた半生が胸を打つ。(本店竹内)
【新書賞】	下り坂をそろそろと下る 平田オリザ/講談社	人間の一生をみても成長はいつか止まるもの。日本という国における老い方の新提案。 (フェザン店松本)
【新人賞】	トヨトミの野望 梶山三郎/講談社	某超有名自動車会社の「救世主」は、マニラに左遷されながら社長に返り咲いた奇跡の男！事実を基にした面白すぎる快作！(フェザン店長江)